

宇都宮民報

—発行—
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
TEL634-8722

政治の質を高める、
市民の声を届ける
しん 赤旗
日刊 3497円
月刊 930円

LRT事業費 激増に怒りの声

「想定外の範囲」を逸脱!

議会に説明

【事業用地の取得状況】

(宇都宮市域)
地権者 404名
契約者数 362名

【概算事業費の増減】

- 1、現地の施工条件への対応 (1102億円)
- 2、建設需要の増加などの社会情勢の変化 (1335億円)
- 3、安全性・利便性の向上など (146億円)
- 4、地下埋設物等移設費 (1335億円)
- 5、軌道構造の仕様を見直し (マイナス27億円)

市側の説明では、多岐にわたる工事であり、初めての事業なので、今後の見直しも含め概算事業費を精査するのに時間を要したとのことでした。こうした説明に、議員からは、多くの批判の声が上がりました。

重要な情報

隠蔽して市長選挙か?

昨年11月の市長選挙の際の最大の争点になったにもかかわらず、こうした重要な情報が隠蔽されたまま選挙がたたかわれたことへの不信感は大きいものがあります。この点

でも、複数の議員から、市長が知った時期や、その経緯についての質問が相次ぎました。それに対し建設部長は、「正確な数字を公表するには時間がかかった。12月には副市長に報告、段階を経て、1月になってから市長に報告した。」と説明。

ある議員からは、「市長は蚊帳の外だったということか」との発言も。

また、市長は増額について「大きな事業なので、ある程度の増額は致し方ない。担当課の説明に納得した。」などと述べています。

【本市・芳賀町の概算事業費】 (億円)

	当初	精査後	増額
宇都宮市域	412	603	+191
(参考)芳賀町域	46	81	+35
合計	458	684	+226

※対象事業の約50%に国の補助金を充当予定

市民の意志を問え!

日本共産党の福田くみ子団長は、市長選挙への影響や、議会への報告や議会質問への不誠実さについて批判したう

えで、あらためて事業の是非について市民の意見を聞くべきとして、「住民投票」にも言及しました。

市民からも怒りの声続々!

怒りを感じます。しかも市長選の後に報じるなんてとんでもないです。今、バスも電車も乗客が減っているし、これからはテレワーク、オンラインが当たり前になると思われるとき、そして今、生活が大変な人が増えている時に、市民の生活に回すべきでしょう!

(細谷在住 女性)

市長選挙の当選の弁で(佐藤)市長と市長の後援者は「堂々とたたかった。」「前回のもやもやが、払拭できた。」などと述べていた。恥ずかしいとはこのことだ。

(大谷町在住 女性)

計画があまりにも杜撰。市長選挙の前にこのことが分かっていたら結果は逆転したであろう。すでに着工しており私にはどうすればよいのかわからない!

(旭在住 男性)

税金の無駄使い、すぐやめるべき。高齢者の病院、買い物のためのタクシーに使用できるようにしてほしい!

(上横田在住 男性)

医師確保は至難の業 五輪の中止を!

日本共産党の志位和夫委員長は1月22日の衆議院本会議の代表質問で、コロナ対策の三つの緊急提案を行いました。

- ①無症状感染者を把握・保護する積極的検査戦略を持ち、実行すること。
- ②医療機関と医療従事者、保健所への支援を抜本的に拡充すること。
- ③自粛要請と一体に十分な補償、雇用と営業を守る大規模な支援を実行すること。の三点です。

コロナ収束に集中を!

さらに志位委員長は、今夏開催の東京五輪について言及し、問題点を二つ挙げました。第一にワクチンの問題。第二にフェアな大会の問題。第三に、医療体制の問題をあげました。

政党として五輪の開催に言及したのは志位委員長が初めて。

倉持先生が赤旗に

2月1日の赤旗日刊紙には

「医療ひっ迫、医師に診てもらえず自宅で亡くなる人も。そんな時に五輪ですか」と宇都宮市内で開業する倉持仁医師がコメントを寄せています。

「東京五輪には1万人の医師など医療従事者が必要といわれます。今後全国でワクチン接種が始まる中、ここでも多くの医師、看護師が必要で、五輪に医師らを確保するのは至難の業で、無理にやれば必要な医療が圧迫されるだけ。五輪は中止すべきです。(中略...)」

正に倉持医師の言う通りではないでしょうか。毎日必死に、押し寄せる患者さんに向き合い、コロナ治療に当たっている医師だからこそ、重みが伝わるコメントでした。



おめでとう!! 核兵器禁止条約発効!!

1月22日、核兵器禁止条約が発効となり、これを記念する宣伝行動が23日、宇都宮市二荒山神社前で行なわれました。

小雨が降って寒い中、35名の参加者は横断幕やプラスタ―を持って元気に宣伝。各団代表がマイクを握ってのりシートークも行なわれました。

核兵器の終わりの始まり

県原水協の天谷静雄代表は、この条約の意義は核兵器を「違法」とし核保有国を道義的に追い詰めると共に核戦略の手を縛ることにあり、「核兵器の終わりの始まり」である。



唯一の戦争被爆国日本が参加することが世界に大きな影響を与える。これに背を向けている日本政府の姿勢を改めさせるためにもいま展開されている「日本政府に核兵器禁止条約の参加・批准を求める署名」にご協力を、と訴えました。

政権交代こそ参加・批准の近道

政党代表として社民党連の星幹事長からの挨拶があったほか、日本共産党の青木ひろし栃木1区国政対策委員長も挨拶。署名の強力推進とともに、総選挙で野党の共通政策にこの課題を盛り込み、市民と野党の共同で自公勢力を少数派に追い込み、政権交代させることこそ実現の近道、と訴えました。

宇都宮から声をあげよう!!

日本共産党宇都宮市議員団を代表して福田くみ子市議からも訴えがあり、禁止条約への署名・批准を国に求める意見書提出の陳情が自公など与党勢力の反対で不採択になった経過が語られ、市民運動との連携でひきつづきがんばる決意が語られました。



元今泉 5-10-1

民青とちぎや新日本婦人の会も参加している食糧支援プロジェクト実行委員会主催の「もってけ市」が、駅東公園で開催されます。県内では小山市に続き3回目となります。

今回の「もってけ市」は、アルバイトの減少等により生活に困っている学生さんを主に対象として行われる食糧支援です。

現在は、皆さんから様々な食品・物品が届き、仕分け作業が進んでいます。また当日の役割分担、配置、手順を考えたり、公園の使用許可申請をしたり、お知らせのチラシを撒いたり、主催者をはじめ多くの皆さんが準備に駆け回っています。皆

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 2月13日(土) 午後2～4時
3月13日(土)

◇会場 宇都宮市総合
コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。秘密厳守します。弁護士が協力します。

※新型コロナ感染症の状況によっては、変更または中止となる場合もあります。必ず事前にお問い合わせ下さい。

市民の大切な文化遺産を守れ!!

根古谷台遺跡 市と教育委員会に申し入れ

日本共産党宇都宮市議員団のもとに市民の方から、「宇都宮遺跡の広場の復元建物の茅が強風に飛ばされて悲惨な状況になっている」と

メールがはいりました。議員団はさっそく聖山公園にある根古谷台遺跡を調査に訪れ、現場を確認したところ、復元住居の茅ぶき屋根の一部

いよいよ宇都宮でも初の試み 「もってけ市」 — 食糧支援プロジェクト —

皆さん声を揃えて「一人でも多くの学生さんに」「少しでも支援が届けば」と話します。

「もってけ市」は今後も継続的に取り組んでいくということです。実行委員会では引き続き食品・物品等のご支援を呼びかけています。



青木教育次長に申入れ書を渡す市議員団

穴があいた茅ぶき屋根→

を提出
しまし
た。

が抜け落ちていた状況でした。うつのみや遺跡の広場は、1991年に開園した縄文時代前期の大規模な集落跡を復元した貴重な文化遺産です。共産党市議員団は1月26日、市長と教育長に対し「根古谷台遺跡復元建造物の改修・保存についての要望書」